

ひとみ座乙女文楽

鶴澤津賀花

乙女文楽

「壺坂観音霊験記」
沢市内より山の段
「本朝廿四孝」
奥庭狐火の段

娘義太夫

「傾城阿波の鳴門」
順礼歌の段

第二回 横須賀女流義太夫演奏会

四代目 竹本綾之助

2024年

6月30日

午後の部

開場 14:15 開演 15:00

ヨコスカ・ベイサイド・ポケット

チケット発売3月31日(日)より

午前の部 11:00開演

ファミリーむけ/

「本朝廿四孝」奥庭狐火の段のみ上演

[全席自由] 市内小中学生無料招待(先着200名)
保護者席 ¥3,000 / U25 ¥2,000

午後の部

[全席指定] S席 ¥6,000 / A席 ¥5,000
B席 ¥4,000 / U25 ¥3,000

※午前の部、午後の部ともに未就学児入場不可

チケットお申し込み方法

[劇場電話予約センター] 046-823-9999
[劇場プレミアム倶楽部専用ダイヤル] 046-823-7999
[窓口販売] 横須賀芸術劇場1階 / 劇場サービスセンター内
※発売初日の窓口販売は11時からとなります(電話・WEBは10時から)

[主催者(鶴澤津賀花)問い合わせ先]

080-3406-3294

yokosukagidayu@gmail.com

チケット
お申し込みフォーム



主催 鶴澤津賀花 助成 (公財)松尾芸能振興財団 協賛 株式会社木村商店 日本水産観光株式会社

後援 横須賀市、横須賀市教育委員会、(公財)横須賀市生涯学習財団、横須賀文化協会、横須賀商工会議所、横須賀商工会議所女性会、(一社)横須賀市観光協会、(公財)日本伝統文化振興財団
(一社)義太夫協会 協力 (公財)現代人形劇センター、よこすか市民会議 制作協力 (株)Macmillan

娘義太夫

「傾城阿波の鳴門」
「本朝廿四孝」
「奥庭狐火の段」

乙女文楽

「壺坂観音霊験記」
「沢市内より山の段」
「本朝廿四孝」
「奥庭狐火の段」

プロフィール

四代目竹本綾之助

たけもとあやのすけ

一九六三年、三代目竹本綾之助に入門、綾一と名乗る。一九六六年、NHK邦楽育成会第十期卒業。一九八六年、豊澤仙廣賞受賞。二〇〇〇年、重要無形文化財「義太夫節」総合認定保持者認定。二〇〇二年、四代目竹本綾之助襲名。二〇〇五年、豊竹嶋太夫門人となる。二〇一一年、旭日双光章受章。

鶴澤津賀花

つるざわつがはな

一九九八年、女流義太夫人間国宝 竹本駒之助に入門。二〇〇一年、初舞台。二〇〇六年、文化庁新進芸術家国内研修員として三味線を六世鶴澤燕三に師事。二〇〇九年、日本伝統文化振興財団「邦楽技能者オーディション」合格。二〇一一年、清栄会奨励賞受賞。二〇一七年、松尾芸能賞新人賞受賞。

ひとみ座乙女文楽

乙女文楽は、「三人遣い」の文楽に対し

「一人遣い」の人形浄瑠璃です。文楽人形の外見はそのままに、仕組みに工夫が加えられており、百年前に文楽の五世桐竹門造らが考案。ひとみ座乙女文楽は、その門造の直弟子桐竹智恵子に「人形劇団ひとみ座」の女性座員が教えを受け、一九六八年に結成されました。二〇一八年、川崎市地域文化財。二〇一九年、松尾芸能賞特別賞受賞。

女流義太夫、色とりどりの世界。

公演内容

ご案内：水谷彰宏

(元NHKアナウンサー)

1 トークコーナー

出演：水谷彰宏 × 鶴澤津賀花

2 娘義太夫

「傾城阿波の鳴門」順礼歌の段

浄瑠璃：竹本寿々女

三味線：鶴澤弥々

3 乙女文楽

「壺坂観音霊験記」沢市内より山の段

浄瑠璃：四代目竹本綾之助

三味線：鶴澤津賀花

ツレ：鶴澤弥々

人形：山下潤子（お里）

松本幸子（沢市）他

陰囃子：藤舎呂裕社中

「本朝廿四孝」奥庭狐火の段

浄瑠璃：竹本京之助

三味線：鶴澤津賀花

ツレ：鶴澤弥々

箏：片岡由紀

人形：亀野直美（八重垣姫）他

陰囃子：藤舎呂裕社中



演目紹介

生き別れた親子の情愛を描く

「傾城阿波の鳴門」順礼歌の段

阿波国、徳島の藩主、玉木家の重宝「国次の刀」が盗まれます。十郎兵衛は刀を取り戻すため盗賊となり、妻お弓と大坂に移り住んでいます。お弓が家に一人でいると順礼姿の女の子が訪ねてきます。お弓はその子が徳島に残してきた娘お鶴だと分かりますが、身の危険が及ぶことを恐れ名乗らず国元へ帰します。しかし思い直し、慌ててお鶴の跡を追うのです。

夫への貞心と観世音への信心が奇跡を呼ぶ「壺坂観音霊験記」沢市内より山の段

大和国、壺坂寺の麓で、お里と沢市は貧しいながらも夫婦仲良く暮らしています。沢市は子ども時の疱瘡のため盲目の身の上。お里は夫の目が開くことを願って、毎夜密かに壺坂寺に願掛けをしますが、沢市は不貞を疑います。お里はやつこのことで誤解をとき、二人は観音様へお参りに夜の山道を急ぎます。壺坂寺に着くと沢市は身を恥じて、ひとり山中の谷底に身を投げます。お里はすぐに夫の跡を追いますが、お里の貞心と信心の功德により観世音菩薩が二人の寿命を延ばし、沢市の目が開くのです。

氷の諏訪湖を駆け渡る八重垣姫「本朝廿四孝」奥庭狐火の段

戦国の世、甲斐の武田信玄、越後の長尾謙信の両氏が覇を競っています。両家和睦のため、武田家の勝頼と長尾家の八重垣姫が婚約を交わしますが、勝頼は故あって切腹。八重垣姫が菩提を弔っていると、勝頼とそっくりの男が現れます。実は切腹したのは偽物で、この男こそ本物の勝頼だったのです。八重垣が勝頼と結ばれるかみえたその時、父謙信が勝頼に隣国への使者を命じ、あるうことが勝頼に向けて刺客を放ちます。八重垣姫は勝頼に危険を知らせようと、諏訪明神に一心に祈ります。すると神の使者である狐の霊力が宿り、八重垣姫は凍った諏訪湖の上を駆け渡って行くのです。

アクセス

横須賀芸術劇場 ヨコスカ・ベイサイド・ポケット
横須賀市本町3の27/046・828・1600



京急「汐入駅」徒歩1分
JR 横須賀駅「徒歩8分